

KISO

MUSIC FESTIVAL 2016
8.26.fri—28.sun

第42回

木曽音楽祭

フェスティバル・コンサート

木曽文化公園文化ホール

前夜祭コンサート 8.25[木]7時

木曽町中学校(旧福島中学校)体育館

◎フェスティバル・コンサート[全席指定]

大人:4,000円/小・中学生:2,000円

◎フェスティバル・コンサート通し券

指定:11,000円[前夜祭コンサートチケット付き]

※通し券は木曽音楽祭事務局のみの取扱い[限定100席]

◎前夜祭コンサート[全席自由]

大人:1,000円/小・中学生:無料

●チケット予約・お問合せ

木曽音楽祭事務局 0264-21-1222 [木曽音楽祭 Q検索]

※電話受付 9:00~17:00

●プレイガイド

木曽文化公園 0264-23-8011 <http://www.kisoji.com/kisobunka/>
カンフェティ Confetti 0120-240-540 <http://www.confetti-web.com>

主催:木曽音楽祭実行委員会

共催:木曽町・木曽広域連合・信濃毎日新聞社・公益財団法人 信毎文化事業財団

後援:長野県

助成:芸術文化振興基金



企画制作:東京アーティストズ 03-3440-7571 <http://tokyoartists.jimdo.com>

I — 8月26日[金]7時

ラヴェル(ウォルター編):マ・メール・ロワ(ピアノと木管五重奏)

ブラームス:クラリネット五重奏曲 短調 Op.115

シュポア:九重奏曲 へ長調 Op.31

II — 8月27日[土]5時

ニーノ・ロータ:九重奏曲 ハ短調 Op.52

メンデルスゾーン:弦楽五重奏曲 第1番 イ長調 Op.18

ブルッフ:ピアノ五重奏曲 ト短調

III — 8月28日[日]3時

モーツァルト:管楽器のための協奏交響曲 変ホ長調 K.297b

ブリッジ:弦楽六重奏曲

ブラームス:ピアノ五重奏曲 へ短調 Op.34

フルート	佐久間由美子
オーボエ	古部賢一・荒木奏美
クラリネット	山本正治・金子平
ファゴット	水谷上総・河村幹子
ホルン	日高剛・日橋辰朗
ヴァイオリン	久保陽子・加藤知子・漆原啓子・白井圭・水谷晃
ヴィオラ	佐々木亮・村上淳一郎・大島亮
チェロ	山崎伸子・花崎薫・伝田正則
コントラバス	星秀樹
ピアノ	野島稔・寺嶋陸也
ディレクター	山本正治



8.25 [木] 7時 前夜祭コンサート

*曲目は後日発表

8.26 [金] 7時

フェスティバル・コンサート

ラヴェル(ウォルター編):

マ・メール・ロワ(ピアノと木管五重奏)

—寺嶋・佐久間・荒木・山本・水谷上・日橋

ブラームス:クラリネット五重奏曲 短調 Op.115

—金子・加藤・漆原・佐々木・花崎

シュポア:九重奏曲 ヘ長調 Op.31

—佐久間・古部・山本・河村・日高・白井・村上・花崎・星

8.27 [土] 5時

フェスティバル・コンサート

ニーノ・ロータ:九重奏曲 ハ短調 Op.52

—佐久間・古部・金子・水谷上・日橋・水谷晃・大島・伝田・星

メンデルスゾーン:

弦楽五重奏曲 第1番 イ長調 Op.18

—漆原・白井・佐々木・大島・伝田

ブルッフ:ピアノ五重奏曲 ト短調

—寺嶋・加藤・水谷晃・村上・山崎

8.28 [日] 3時

フェスティバル・コンサート

モーツァルト:

管楽器のための協奏交響曲 変ホ長調 K.297b

—荒木・古部・山本・金子・水谷上・河村・日高・日橋・星

ブリッジ:弦楽六重奏曲

—漆原・水谷晃・村上・大島・花崎・伝田

ブラームス:ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34

—野島・久保・白井・佐々木・山崎

*曲目・演奏者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
*未就学児童の入場はお断りいたします。

交通のご案内

バス(新宿から木曾福島直通の高速バスで……約4時間15分)

主なバス停:バスタ新宿(南口)~中央道日野~塩尻駅東入口
~奈良井宿~木曾福島駅前

運賃:新宿↔木曾福島駅前 片道4,650円(往復券10%引・4枚綴回数券12.5%引)

◎木曾福島行き ※平成で28年5月より高速バス発着場所がバスタ新宿(南口)に変更になりました。

バスタ新宿(南口) [7:45] → 木曾福島駅前着 [12:10]

バスタ新宿(南口) [17:35] → 木曾福島駅前着 [21:50]

◎新宿行き

木曾福島駅前発 [7:50] → バスタ新宿(南口) [12:05]

木曾福島駅前発 [15:40] → バスタ新宿(南口) [19:55]

*お問合せ・ご予約

京王高速バス予約センター 03-5376-2222(9:00~20:00)

おんたけ高速バス予約センター 0264-22-4555(7:15~18:00)

ハイウェイバスドットコム <https://www.highwaybus.com/>

電車(JR特急)

◎東京から木曾福島

中央本線<あずさ>→塩尻<しなの>→中央本線…約3時間30分

新幹線→長野<しなの>→中央本線…約3時間30分

◎名古屋から木曾福島<中央本線>…1時間25分

車(中央自動車道)

◎東京・高井戸ICから木曾福島

塩尻IC→R19…約3時間45分/伊那IC→R361→R19…約3時間30分

◎名古屋から木曾福島

中津川IC→R19…約2時間10分/伊那IC→R361→R19…約2時間20分



●チケット先行予約

6月12日(日) 午前10時~午後5時

木曾音楽祭事務局 Tel.0264-21-1222

※6月13日からは午前9:00~午後5:00

木曾文化公園文化ホール
舞 台

7	12	あ	13	24	あ	25	30
6	11	い	14	25	い	31	
4	9	う	15	26	う	32	33
3	8	え	16	27	え	33	34
2	7	お	17	28	お	34	35
1	6	か	18	29	か	35	36
	5	き	19	30	き	36	
	4	く	20	31	く	37	
	3	け	21	32	け	38	
	2	こ	22	33	こ	39	
	1	さ	23	34	さ	40	
1	12	し	13	24	し	25	36
	11	す	14	25	す	31	
	10	せ	15	26	せ	32	
	9	そ	16	27	そ	33	
	8	た	17	28	た	34	
	7	ち	18	29	ち	35	
	6	つ	19	30	つ	36	
	5	て	20	31	て	37	38
	4	と	21	32	と	38	39
	3	な	22	33	な	39	40
1	12	な	13	24	な	25	36

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用下さい(大人200円・小人100円)

公演日・開演時間	木曾福島駅	木曾文化公園 着 / 発	木曾福島駅
8月26日(金) 19:00開演	18:00	18:20 / 21:00	21:20
8月27日(土) 17:00開演	16:00	16:20 / 19:00	19:20
8月28日(日) 15:00開演	14:00	14:20 / 17:00	17:20

※木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後します。
※臨時バスは、木曾福島中心街の宿泊施設近くのバス停にも停まります。

木曾音楽祭協賛宿泊施設のご案内

日義木曾駒高原

コンサート会場に近く、のんびりしたい方に……

木曾駒高原ホテル 0264-23-8080

森のホテル 0264-23-7331

駒王 0264-23-7201

開田高原

ドライブを楽しみたい方、自然を満喫したい方に……

ペンションJハウス 0264-44-2219

旅館やまかの湯 0264-44-2010

三岳・上松

ロープウェイ・森林鉄道など、アウトドアがお好きな方に……

ホテル木曾温泉(三岳) 0264-46-2700

ねぞめホテル(上松) 0264-52-2245

木曾福島

旅情あふれる街中に宿をご希望の方に……

木曾福島旅館組合

山みず季 URARAつたや 0264-22-2145

森富旅館 0264-22-2303

木曾路の宿いわずや 0264-22-2015

木曾古道ぬくもりの宿駒の湯 0264-23-2288

鍵旅館 0264-22-2217

旅館さらしなや 0264-22-2307

旅館山水 0264-23-7728

街道浪漫 おん宿 蔦屋 0264-22-2010

◎木曾町観光協会~木曾路の旅への総合窓口~

上記以外の宿泊情報その他、何でもお問合せください

Tel.0264-22-4000 Fax.0264-24-3500

島崎藤村

を訪ねて、木曾福島へ



文豪・島崎藤村は、木曾「馬籠宿（現岐阜県中津川市）」の本陣・庄屋・間屋である第17代当主「島崎正樹翁」の7人兄弟の末っ子として、明治5年（1872年）に生まれました。若い頃から雑誌等に寄稿し、『破壊』などの名作を発表し、長編小説『夜明け前』を執筆するなど、世界的にも知られた文学者です。『夜明け前』の重要な舞台のひとつとして木曾福島が登場しています。また、8月26日に演奏される作曲家シュポアは、小説『春』に登場します。



■ 福島関所

福島関所は日本四大関所のひとつといわれており、宿場はずれの木曾川沿いに連なる崖の上の僅かな平地にあります。江戸に入る鉄砲と江戸を出る女を厳しく取り締まったことで知られ、現在、史跡に隣接して関所施設が復元され、資料館として当時を物語る用具類などが展示されています。

『夜明け前』には「福島関所は木曾街道中の関門といわれて、大手橋の向こうに正門を構えた山村代官屋敷からは河一つ隔てた町はずれのところにある」と描かれています。



■ 山村代官屋敷

江戸時代を通して山村家が福島関所を預りました。壮大な代官屋敷は関所から見える木曾川対岸の敷地にあり、現在は小学校となっています。隣にも代官が居住した下

屋敷があり、資料館として現存しています。名代官の蘇門公は学問を愛し、全国の学者と交流し、『夜明け前』にも木曾の名代官としてしばしば登場します。

『夜明け前』には半蔵が御嶽神社に参籠の際、「講社や信徒の名を連ねた種々な額が奉納してあって、中にはこの社殿を今見る形に改めた造営者であり木曾福島の名君としても知られた山村蘇門の寄進にかかる記念の額などの宗教的な気分を濃厚ならしめるものもある…」として描かれています。



■ 興禅寺

木曾氏12代信道は永享6年に興禅寺を創建し、木曾義仲公の菩提を弔いました。境内には重森三玲作で東洋一広有名な枯山水庭園があり、寺には宝物殿資料館も整っています。

『夜明け前』に登場する名代官山村蘇門、藤村も学んだ武居用拙、剣術の達人遠藤五平太の墓があります。明治維新後、名古屋県、筑摩県などの役所が置かれ、木曾の山林を人民に返す運動の主謀者として、青山半蔵が戸長免職を申し渡された場所として描かれています。



■ 高瀬家（高瀬資料館）

高瀬家は、山村代官の家臣で関所番も務め、島崎藤村の姉「その」の嫁ぎ先です。若い藤村がひと夏滞りし、第3詩集『夏草』を書き上げ、日本自然主義文学の代表作『家』のモデルとして知られています。『夜明け前』など多くの作品に高瀬家は登場します。資料館には、藤村からの手紙や直筆の掛軸、作品に登場する人々の写真やゆかりの品々などが展示されています。



■ 木曾郷土館

藤村の初版本コレクションやブロンズの藤村像（石井鶴三作）などが展示されています。隣接する木曾教育会館玄関前に『夜明け前』の文学碑があります。

井口利夫（元木曾福島公民館長）

音楽祭の合間にはこんな楽しみ方も

木曽は豊かな自然と水に恵まれた歴史の宝庫です。音楽祭会場になっている木曽駒高原から少し足を伸ばせば、木曽馬に乗ったり、ロープウェイで雄大な景色を眺めたり、古い町並みを散策したりと楽しみがいっぱいです。

また、蕎麦や五平餅を味わうのも楽しみの一つです。演奏会が始まるまでの時間、魅力あふれる木曽の良さを堪能してみたいはいかがでしょうか。



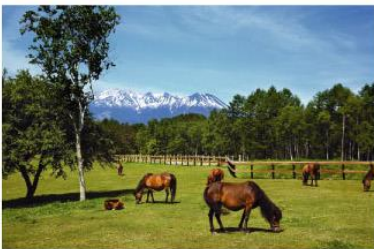
7 阿寺溪谷

木曽五木が茂る山が兩岸に迫り、狸ヶ淵や犬帰りの淵など美しい渓谷美が続く。



1 奈良井宿

難所・鳥居峠のふもとにあり江戸時代には「奈良井千軒」と言われるまでに栄えた宿場。「中村邸」「上間屋資料館」など重要文化財も多く残っている。



2 木曽馬の里

高原の放牧場では約30頭余りの木曽馬たちがのんびり草を食べて、乗馬体験を楽しむこともできる。



3 御岳ロープウェイ

標高3,067m、木曽のシンボル御嶽山。ロープウェイを利用して美しい景色を眺めたり、トレッキングを楽しむことができる。



4 自然湖

長野県西部地震の際、土石流で川がせき止められてできた湖。幻想的な空間のカヌー体験が魅力。



5 寝覚の床

木曽路を代表する名勝の一つ。木曽川の奇岩とエメラルドグリーンの水が殊に美しい。浦島太郎伝説も残り、岩の上に祠・浦島堂がまつられている。



6 赤沢自然休養林の森林鉄道

森林浴発祥の地・赤沢自然休養林。木曽ヒノキなど樹齢300年を超える樹木の中を森林鉄道が走っている。



8 妻籠宿

全国で初めて古い町並みを保存した宿場町。国の重要伝統的建造物群保存地区の第一号。出梁造りに堅繁格子、卯建(うだつ)のある軒が続く道筋は、江戸時代がそっくり凝縮されている。

木曽町観光協会～木曽路の旅への総合窓口～(無休)
Tel.0264-22-4000 <http://www.kankou-kiso.com/>

フェスティバル・コンサート会場で軽食を販売
● 8月26日(金)～28日(日)開場1時間前～
地元の団体による、五平餅をはじめ、木曽の郷土料理・スローフード、特産品などの販売